



平成八年度
国立婦人教育会館出前講座
「ともに歩む女と男」

- 1 趣 旨 婦人教育・家庭教育の現状と課題に関して、これまで国立婦人教育会館が得た情報・成果及び全国的・国際的な情報を広く県民に提供・周知するとともに、男女の固定的な役割分担意識を問い直す機会を持つことで、県の婦人教育、家庭教育の一層の充実・発展を図る。
- 2 主 催 国立婦人教育会館・福島県教育委員会
- 3 共 催 福島市教育委員会・福島県婦人団体連合会・国際婦人教育振興会福島県支部・福島県警青の会
- 4 期 日 平成八年十一月二十七日(水)
- 5 会 場 福島県文化センター小ホール(福島市春日町五一五四) ☎〇二四五―三四一九一九一)
- 6 参加人数 約三百人
- 7 参加対象 市町村の婦人・家庭教育担当者・公民館主事・社会教

- 9 日 程
- (1) 開 会(午前十時～十時十五分)
- (2) 会館からの情報提供(午前十時二十分～十一時十分)
- (3) 「国立婦人教育会館の概要紹介」
ふくしま・ふれあいトーク(午前十一時十分～十二時)
- (4) シンポジウム(午後一時～三時二十五分)
テーマ「ともに歩む女と男」
→うつくしまふくしま・女と男のすてきな関係を考えよう
コーディネーター 上村千賀子
(国立婦人教育会館事業課長)
- パネリスト 中下裕子(弁護士)、長谷川公一(東北大学教授)、二瓶由美子(尚志学園講師)、ひこ・田中(児童文学作家)
- (5) 閉 会(午後三時三十分～三時四十分)
- 10 参加申し込み 参加希望者は、ハガキに氏名、年齢、住所、電話番号

を明記し、下記に申し込む。フアクシミリによる申し込みも受け付ける。その際、託児、弁当の希望がある場合はその旨を明記する。なお、団体等に所属する場合はその団体等で取りまとめの上、申し込む。

締め切りは十一月五日(火) ただし定員になり次第締め切る。

申し込み先 福島県教育庁生涯学習課出前講座係(千九六〇 福島市杉妻町二一六)
電話：〇二四五―二一七七八四
FAX：〇二四五―二一七九九二

平成九年度
福島県立盲学校・聾学校・
養護学校高等部入学者
選抜要綱

福島県立盲学校・聾学校・養護学校高等部入学者選抜の基本方針及び選抜日程は、次のとおりです。

基本方針

○「一般選抜」のみ実施する。

高等部入学者選抜は、中学校長または、中学部設置学校長より提出された調査書、選抜のための学力検査の成績、障害の種類・程度及び面接の結果を資料として、各高等部設置学校の実態を考慮しつつ、その教育を受けるに足る能力・適性等を総合的に判定して行うこととする。

一 中学校または中学部設置学校において、調査書を厳正・公平に作成する。

平成9年度福島県立盲学校・聾学校・養護学校入学者選抜日程

――一般選抜関係日程――

願書提出	平成9年2月12日(水)～2月18日(火)
出願先変更	平成9年2月24日(月)～2月27日(木)
調査書提出	平成9年3月3日(月)～3月5日(水)
学力検査	平成9年3月15日(土)
面接	平成9年3月15日(土)または16日(日)
合格者発表	平成9年3月19日(水)

- 二 高等部設置学校においては、調査書を十分に尊重する。
- 三 学力検査問題の出題は、中学校学習指導要領、盲学校・聾学校及び養護学校中学部学習指導要領に基づき、適正なものとする。
- 四 学力検査を実施する教科は、国語、社会、数学、理科の四教科及び外国語(英語)又は養護・訓練とする。
- ただし、精神薄弱者を教育する養護学校高等部の教科については、国語・数学の二教科及び作業・運動能力検査とする。
- 五 選抜に当たって、面接を実施する。
- * 高等部入学者選抜実施校については、次号でお知らせします。